

2025 年度事業計画

1. 刑事司法制度に関する調査及び研究、研究会、講演会、シンポジウムの開催、セミナー、研修等の実施並びに出版その他の情報提供

(1) 刑事司法制度改正に関する調査・研究・情報発信（ヒューマン・ライツ・ウォッチと連携）

2023 年 6 月より公益財団法人ヒューマン・ライツ・ウォッチ（HRW）と進めている「ひとごとじゃないよ！人質司法」プロジェクトを継続する。

- ① 「ひとごとじゃないよ！人質司法」に関するシンポジウム開催（HRW と共催）
2025 年度冬に、議員会館にて第 3 弾シンポジウムを開催する。

② 「人質司法」の研究会の実施

人質司法問題については、国際的な観点からみたときに日本の刑事司法制度・運用をどのように評価できるかということも、ひとつの重要なポイントとなる。そこで、比較法的な観点から人質司法問題について考える研究会を夏から秋にかけて開催し、論点抽出・議論する。

(2) 関連する研究会、講演会、シンポジウムの開催

① 「えん罪関連の問題」についての講演会の開催

「袴田事件」の再審無罪判決を契機として、再審問題やえん罪問題、死刑問題についての社会的関心が高まっているため、刑事司法の改革についての講演会またはシンポジウムを秋から冬にかけて開催する。

② 今西事件についての公開講演会の開催

2024 年 11 月の逆転無罪判決後に検察官による上告がなされた。一刻も早い無罪判決確定に向けて、世論を喚起するための一般市民・メディア向けシンポジウムを 2025 年 7 月頃に開催する。

③ 神戸質店事件についての公開講演会の開催

2025 年 4 月 19 日に、再審請求（予定）後初のシンポジウムを開催する。世論喚起を目指す。

④ その他の事件についての公開講演会

当事者の希望にもよるが、クリス事件など、他の支援事件についても、控訴審

の状況が明らかになる秋から冬ころに公開講演会の開催を目指す。

(3) 司法制度改革に向けた提案活動

- ① 「人質司法」問題について、海外比較などを含めつつ調査・研究を行うとともに、議員へのロビイング活動を行い、立法・行政への働きかけやメディアや市民への情報発信を行う。
 - ・ロビイング活動の継続（2025 年度中）

2. 科学的見地から支援可能な冤罪事件についての調査、相談及び支援

(1) 既支援決定事件についての活動

① 25 海遊館事件

支援弁護士の増員を図ったが、なお検討をようしており、早期に再審請求の目途をつける。（8月まで）

② 328 天赦日事件

IPJ メンバーにより弁護団が形成されており、再審請求に向けて新証拠の準備及び再審請求書の準備を行い、年度内の再審請求を目指す。

③ 304 神戸質店事件

新証拠の準備を整え、2025 年末までに再審請求を行う。その後は、再審開始に向けて証拠開示を通じてさらなる新証拠を探索・精査すると共に、進行協議期日を通じて、弁護活動を行う。

④ 434 今西事件

昨年度、逆転無罪という成果を得た。IPJ メンバーが弁護団として上告審が係属中であり、HP からの発信等を通じて、世論喚起に貢献する。今年度中の確定を目指す。

⑤ 459 クリス事件

前年度、一審判決で有罪となったが、IPJ メンバーが弁護団として控訴審を進めており、今年度中に判決予定。IPJ メンバーによる法廷傍聴や HP 等による情報発信を通じて、無罪判決を目指す。

（２）新規相談事件の審査活動

① 関東

月１回審査会議を行い、支援しうる事件の増加を企図する。

② 関西

５班体制の中でメンバーの増員を図り、各班に審査事件を割り当て、１～２月に１回の頻度で全体の審査会議を行い、支援可能な事件の増加を企図する。

３．その他の事業活動

（１）海外のイノセンス団体との連携

① イノセンス・ネットワーク（IN）

- ・イノセンス・ネットワーク（IN）大会への人材派遣

2025年４月にシアトル（アメリカ）で開催されるイノセンス・ネットワーク大会に参加する。2026年３月または４月に開催される大会にも参加する。

- ・ヨーロッパ

2025年７月にヨーロッパで開催されるえん罪ワークショップに参加し、日本の取組み状況を報告する。また国連への働きかけについての全世界的議論に参加する。「えん罪を晴らす権利」を国際人権として確立するための国連への働きかけについて、2025年度も継続して議論に参加する（数年かけて実現することを検討中）。

- ・台湾

引き続き台湾イノセンス・プロジェクトとともに日常的にメール等による情報交換を行う。合同でのアジア・ネットワーク大会の開催を目指す（日時・場所は2025年秋ころ、京都の予定）。

- ・マレーシア

マレーシアでイノセンス・プロジェクトを立ち上げようとしているRashidAbdul Ismail氏との連携を継続する。

以　　上